

令和2年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩市環境市民部
石狩浜海浜植物保護センター

目 次

事業概要	・・・・・・・・・・ 1
1. 普及啓発活動	・・・・・・・・・・ 3
2. 調査・研究	・・・・・・・・・・ 19
3. 自然観察園の整備	・・・・・・・・・・ 21
4. ハマナス再生園の整備	・・・・・・・・・・ 23
5. 環境整備事業	・・・・・・・・・・ 25
6. 来館者数	・・・・・・・・・・ 26
7. 保護・回復対策	・・・・・・・・・・ 27
沿革	・・・・・・・・・・ 29

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境を残していくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。平成 29 年度より、更に施設機能を充実させ、市民が地域の宝として認識し、保全活動等への市民参加を促進していくために施設業務の一部を市民団体へ委託することになり、本年度も石狩浜の普及啓発活動等に取り組まれている「NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ」に運営委託をしました。

運営受託者により、令和元年度からの事業目標として、「Ⅰ．人と自然をつなぐ」「Ⅱ．次世代と自然をつなぐ」「Ⅲ．地域と自然をつなぐ」「Ⅳ．自然情報を未来へつなぐ」が設定され、今年度も活動目標に基づく施設内外での普及啓発活動や情報発信が行われました。

平成 12 年 4 月に開館した保護センターは、令和 2 年度で 20 年目を迎え、海浜植物保護センター 20 周年実行委員会による各種イベントが予定されるなか、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い多くが中止となりました。また、保護センターの開館日も、規則で定める 4 月 29 日を延期し、6 月 8 日から 11 月 3 日まで（開館時間：午前 10 時から午後 4 時までに短縮）となりました。

さまざまな活動の制限が必要とされるなか、感染対策をとった展示公開、オンライン配信によるイベント参加、資料・標本の整理など、従来の企画を工夫し、新たな手法にも挑戦しながら、事業を実施しました。また、コロナ禍での学校教育への協力も積極的に行い、保護センターの展示室や自然観察園などを活用した環境教育プログラムを、市内の教育機関に利用していただきました。

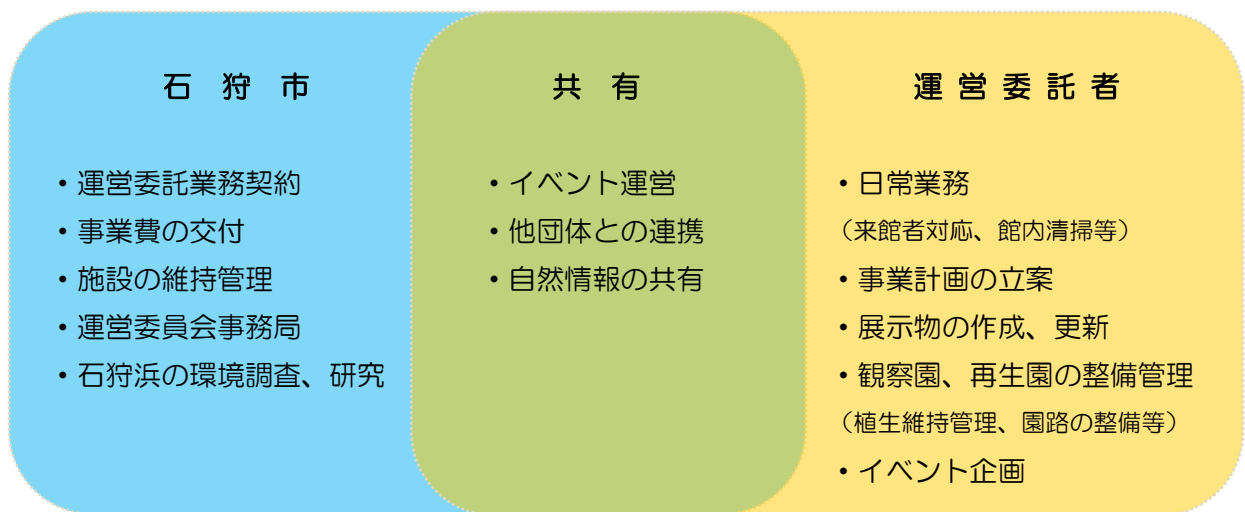


図 石狩浜海浜植物保護センター運営業務分担

表 運営活動の目標

目 標	事業 カテゴリー	事業の目的	対応する主な事業
I. 人と自然をつなぐ	普及 啓発	・自然を楽しむ学ぶための情報提供 ・誘客	・展示室の整備（展示更新等） ・観察園の整備 ・イベントの実施 ・情報発信
II. 次世代と自然をつなぐ	育成	・環境学習の支援 ・自然体験活動の支援	・体験プログラムの実施 ・学習ツールの整備
III. 地域と自然をつなぐ	地域 連携	・市民活動の支援 ・自然とつながる活動への地域的な参加促進 ・地域との交流の場の提供	・施設内の整備 ・ハマナス再生園の整備
IV. 自然情報を未来へつなぐ	情報 蓄積	・自然情報の収集・蓄積・整理 ・環境変遷の記録	・自然情報の収集・蓄積

1. 普及啓発活動

1-1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

石狩浜は、近年のバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつありました。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成 25 年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトの一環として、当センターの隣接地 7,000 m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植（180 本）、移植後の除草作業、散策路づくりに取り組みました。移植用のハマナス苗づくりは、苗を預かって自宅で育てていただく「はまなすサポーター」を募集し、協力いただける活動を続けています。また、再生園の日常的な作業に加えて、市民ボランティアや再生プロジェクト参画企業に参加いただくイベント（ハマナス Healthy タイム等）としての再生活動も継続的に取り組んでいます。

例年、広く普及啓発を図ることを目的に実施してきたイベント「はまなすフェスティバル」「はまなす広場」「いしかり海辺の自然フォトコンテスト」について、令和 2 年度は、保護センター 20 周年実行委員会による事業の一環で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となりました。なお、「いしかり海辺の自然フォトコンテスト」については、これに変わる新たなイベントとして、ハマナス再生プロジェクト協議会の主催により、インスタグラムへの写真投稿による「いしかりはまなすフォトシェア」が実施されました。



ハマナス再生園の全景（2020 年 5 月下旬）

■ハマナス再生園に関する活動

◎ハマナス Healthy タイム

今年度も道民カレッジ連携講座への登録を行い、ハマナス再生園内の除草作業や移植作業など、市内外の方々にハマナス再生作業へご参加いただきました。5月に実施を予定していた活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、7月から10月までの5回の開催となりました。

《ハマナス Healthy タイム》

開催日	参加人数	内 容
5月14日（木）	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5月25日（月）	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5月28日（木）	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
7月09日（木）	5人	ハマナス再生園の除草作業（イネ科）
8月20日（木）	5人	ハマナス再生園の除草作業（チガヤの除去実験）
9月03日（木）	5人	ハマナス再生園の除草作業（イネ科）
9月07日（月）	—	中止（ハマナスを一緒に育てよう）
9月24日（木）	6人	ハマナス再生園の除草作業 （ヨモギ・ヘラオオバコなど）
10月22日（木）	7人	ハマナスの種子採取・播種

◎海浜植物保護センター20周年記念「ハマナス移植」

【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

10月8日（木）、海浜植物保護センター20周年実行委員会主催により、野外記念イベント「ハマナス移植」を開催しました。13人の方々にご参加いただき、ハマナスの種子が発芽して2年目の苗 100株ほどをハマナス再生園に移植しました。また、今年ポットで発芽したハマナス苗を大きなポットに植え替える作業も行いました。参加者には、20周年を記念して、ハマナスの根を用いて染めたハンカチとポストカードをお渡ししました。

《海浜植物保護センター20周年記念「ハマナス移植」》

開催日	参加人数	内 容
10月8日（木）	13人	2019年生苗を約100株再生園へ移植 2020年生苗の植替え



海浜植物保護センター20周年記念「ハマナス移植」の様子

◎はまなすサポーター

今年度も、自宅で苗を大きく育てハマナス再生園へ戻してもらう、「はまなすサポーター」を募集し、苗の受け渡しを行いました。はまなす育成サポーターについては、返戻率のアップを目指して、返戻の条件に同意いただける方にお渡ししました。

(※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、実施期間を短縮して実施。)

《はまなすサポーターの取組状況（※令和2年11月時点）》

サポーター登録数	【個人】258人（令和2年度新規登録者数：4人） 【企業】1社（令和2年度新規登録企業数：1社）
ハマナス苗の配布数	【個人】5株 【企業】5株
苗の返却数	11株 (2019年苗が6株、2018年株が2株、2017年度以前3株)

1-2. 石狩海岸の保全と啓発に関する協働事業 (NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ協働事業)

石狩市協働事業提案制度に基づき平成 23 年度に採択された、NPO 法人いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」（提案制度は平成 23～26 年度）について、継続的に取組が行われています。例年は、石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」をレジャー利用者等に配布していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、令和 2 年度はパンフレットの配布を中止しました。

■3 線浜砂丘侵入防止柵状況調査

実施日：8 月 1 日（土）

参加者：NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ 7 名、市職員 1 名

内 容：例年までのカントリーコードに替わる取組みとして、今年度は、8 月 1 日に、「3 線浜砂丘侵入防止柵状況調査」を実施しました。石狩海岸のうち、北海道が車乗り入れ防止柵を設置している地区約 1.6 km を歩き、柵の破損や埋没状況を確認しました。



3 線浜の保護柵沿いを歩いている様子

1-3. 石狩浜海浜植物保護センター啓発事業

(1) 展示・掲示コーナー（場所：石狩浜海浜植物保護センター 展示室）

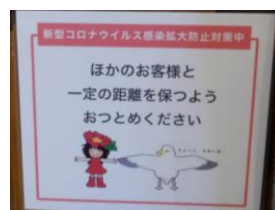
令和 2 年度は、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、開館初日を 6 月 8 日に延期し、開館時間は午前 10 時から午後 4 時迄と短縮し、展示室もソーシャルディスタンスに伴う利用者のスペース確保や手指消毒剤の配備、定期的な消毒などの対策を取りながら実施しました。展示では、常設展、トピック展（5 回、うち 1 回は開館延期にともない未公開）、期間展示（2 回）が行われました。掲示コーナーでは、「研究・環境学習発表コーナー」（5 件、うち 1 件は未公開）および「石狩浜にとっておき掲示板」（4 件、うち 1 件は未公開）を設置し、石狩浜をフィールドに活動されている方々の調査成果の発表や情報発信の場として活用いただきました。



①



②



③

利用者へのお願い（①入口看板 ②手指消毒剤 ③ソーシャルディスタンス）

■常設展示

前年度と同様に開設当初の展示の流れを活かして、来館者が自発的に学び、発見の場となるよう展示の構成を更新し、特に海浜特有の環境と動植物との関わりに重点が置かれました。また、各展示のターゲットの明確化、展示と連動した自然情報の収集・蓄積、保全活動に関する情報提供、自然の楽しみ方の共有を目指し、展示物の配置変更・追加・内容更新を行いました。

《令和2年度展示室概要図》





①石狩湾の成り立ち【追加】



②保護地区情報【移動】



③生きものごよみ【更新】



④フィールドマップ【更新】



⑤石狩湾の地形【更新】



⑥全国の海岸砂丘【更新】



⑦石狩湾の海浜植物【更新】



⑧季節のトピック【追加】



⑨石狩湾の生態系模型
【更新・移動】



⑩石狩湾に暮らす生き物のつながり
【移動】



⑪石狩湾の生きもの【追加】



⑫引き出しクイズ【追加】



⑬生体展示【更新】



⑭ハマナス再生プロジェクト
【移動・更新】



⑮研究・環境学習発表コーナー
【追加】



⑯とっておき掲示板【追加】



⑰イベント情報ボード
(保全活動情報)【追加】



⑱観察園みどころボード
【追加】



⑲クラフト材料(貝)のラベリング【追加】



⑳眺望できる山のイラスト表示【追加】



右:㉑不安定帯一後浜の植物【継続】

左:㉒不安定帯一第1砂丘前面の植物(1)【継続】



右:㉓不安定帯一第1砂丘前面の植物(2)【継続】

左:㉔半安定帯一第1砂丘背面の植物【継続】



右:㉕安定帯一第2砂丘前面の植物【継続】

左:㉖安定帯一第2砂丘背面の植物(海岸林)【継続】



㉗クラフトコーナー

【新型コロナ感染拡大防止のため当面中止】

■トピック展示

常設展の一部に「季節のトピック展示」コーナーを設定し、季節に合わせた自然情報を紹介しました。

《季節のトピック展示》(展示室概要図-⑧)

	タイトル	展示期間
1	イソスミレ 2 つの花の姿	5 月 8 日～5 月 28 日 ※開館延期のため未公開。
2	ハマナス ー咲いても実になれない花たちー	5 月 28 日～6 月 26 日 ※開館延期のため 6 月 8 日より公開。
3	花をたよる虫たち ーハマボウフウ・夏の花と昆虫の多様性ー	6 月 27 日～7 月 26 日
4	砂の中をのぞいてみよう	7 月 27 日～9 月 7 日
5	似ている花 ー紫がかったマメ科の花、黄色いキク科の花ー	9 月 9 日～10 月 18 日

■ 掲示コーナー

《研究・環境学習発表コーナー》（展示室概要図-⑮）

	タイトル	発表者	期間
1	総合学習・石狩観光大使 になろう	石狩市南線小学校 令和元年度3年生	4月29日～5月31日 ※開館延期のため未公開。
2	ハマナスの香りをさぐる	香りの通信舎 伊藤由起子さん	6月1日～6月21日 ※開館延期のため6月8日より公開。
3	巣穴分布と安定同位体比 を用いたイソコモリグモ 個体群の浜崖による分断 について	北海道大学大学院 農学院 大越陽さん 農学研究院 松島肇さん 地球環境科学研究院 根岸淳二郎さん	6月22日～7月19日
4	石狩浜における海浜性ハ ネカクシの生息状況	東海大学 生物学部生物学科1年 田作勇人さん	7月23日～8月23日
5	石狩浜の生態系を守る！ 外来種アズマヒキガエル 対策の取り組み	リンクアス・ 石狩市環境保全課	8月27日～10月18日

《石狩浜とおき掲示板》（展示室概要図-⑯）

	タイトル	発表者	期間
1	石狩川河口左岸砂嘴状地 形先端部の激変！	花砂丘仕事人 寒河江洋一郎さん	4月29日～5月31日 ※開館延期のため未公開。
2	イソコモリグモ調べ	いしかり UMBE キッズクラブ	6月4日～6月22日 ※開館延期のため6月8日より公開。
3	石狩浜近隣の自然の記録	ふるさと自然塾	6月25日～7月24日
4	石狩浜クリーンアップ ごみひろい	NPO 法人 いしかり 海辺ファンクラブ	9月4日～10月18日

■ 期間展示

◎いしかり砂丘の風資料館 連動企画「石狩浜の百年記念塔」

展示期間：9月2日（水）～10月4日（日）

内 容：いしかり砂丘の風資料館テーマ展「石狩浜の百年記念塔」（9月4日～10月5日）との連動企画として、保護センター展示室の一面に、彫刻家の本郷新が作成した製作模型「石狩」を展示しました（本郷新記念札幌彫刻美術館収蔵）。展示期間中には、北海道新聞に展示の様子が紹介されました（記事「本郷新 幻の塔の模型展示」2020年9月17日朝刊／石狩当別版）。



展示：製作模型「石狩」 作：本郷 新
(本郷新記念札幌彫刻美術館所蔵)

◎「保護センターの1年報告会(2020)」【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

- ①展示期間：10月19日(月)～11月3日(火・祝) 場所：保護センター展示室
 - ②展示期間：12月7日(月)～12月19日(金) 場所：石狩市観光センター
- 内容：この一年の保護センターの活動報告を紹介する展示を行いました。また、展示をご覧いただいた方を対象としたアンケート「海浜植物保護の取組への理解に関する調査」を実施しました。



保護センターで開催した企画展の様子



観光センターでの企画展の様子①



観光センターでの企画展の様子②



企画展と合わせたアンケートの実施

(2) 自然教室・観察会

■学び支援（自然教室、体験教室等）

例年実施している施設内外での自然教室やクラフト体験などの開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、「いしかり海辺の自然塾」1回の開催となりました。

◎連続講座「いしかり海辺の自然塾」

石狩海岸の自然を通年で学べる体験型の連続講座として、令和元年度に引き続き開催を予定しました。定員を減らして9月30日「石狩砂丘を歩く」のみ開催しました。（対象は主に大人 希望の回のみ受講可）

≪「いしかり海辺の自然塾」（令和2年度）連続講座≫

	日にち	内 容	実施状況
1	5月20日（水）	石狩砂丘を歩く	中止
2	7月1日（水）	石狩川河口を歩く	中止
3	8月26日（水）	聚富海岸を歩く	中止
4	9月30日（水）	石狩砂丘を歩く	2名
5	10月21日（水）	石狩海岸を俯瞰する	中止



「いしかり海辺の自然塾」
観察会の様子（9月30日）

(3) その他

■学習ツールの整備

展示室を活用した学習が主体的・体験的になるよう、ワークシートの一部を見直しました。また、ワークシートに連動した、体験キット「ほりほりキット」・体験ゾーン「ほりほりゾーン」を整理しました。



「ほりほりゾーン」による野外体験学習
（石狩八幡小学校・浜益小学校）

■体験プログラムのマニュアル作成

【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

体験プログラムをより活用しやすくするため、次の3つのプログラムについて、手順や手法をマニュアルにまとめました。

- ①ハマナスの根で染める草木染
- ②ハマナスの実のジャムづくり
- ③砂の中のお宝探し

1-4. 教育機関等の施設利用

幼稚園や小中学校等教育機関による学習活動の一環として、7件の保護センターの利用がありました。

《令和2年度 保護センターの学校等利用状況》

	日 時	学校・学年	大人	子ども	内 容
1	7月6日(月)	花川北陽認定 こども園	4人	38人	【環境教育プログラム】 ・ハマナス苗の植え替え
2	8月19日(水)	石狩八幡小学校 5年生 浜益小学校 5・6年生	4人	22人	【環境教育プログラム】 ・ワークシート ・海浜植物の根っこ掘り
3	① 9月7日(月) ② 9月9日(水)	花川小学校 3年生	①2人 ②2人	①23人 ②25人	【環境教育プログラム】 ・ワークシート (砂丘のなり立ち編) ①海浜植物の根っこ掘り ②砂の温度しらべ
4	9月11日(金)	石狩中学校 1年生	3人	25人	【環境教育プログラム】 ・ワークシート (砂丘のなり立ち編) ・タネあつめ
5	9月14日(月)	花川北陽認定 こども園	4人	38人	【環境教育プログラム】 ・7月に植え替えた苗の成長観察
6	①9月29日(火) ②10月1日(木)	南線小学校 3年生	①5人 ②3人	①69人 ②61人	・海浜植物の根っこ掘り
7	10月16日(金)	緑苑台小学校 特別支援学級	2人	3人	・施設見学 ・クラフトづくり
計	9回	7校	29人	304人	合計 333人(延べ人数)

1-5. 事業協力

■イベント

◎第10回 科学の祭典 in 石狩

主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会

動画公開期間：2020年11月30日～2021年3月31日

内容：新型コロナウイルス感染拡大予防のため、インターネット開催となった「第10回 科学の祭典 in 石狩」への出展にあたり、動画「砂の性質を知ろう：液状化」を作成し、ブースweb配信に参加しました。

《閲覧状況》

- ・「砂の性質を知ろう：液状化」

視聴回数：123回

■展示

◎観察写真展「2019 石狩浜 花たちの記録」

主催：石狩浜定期観察の会 共催：石狩浜海浜植物保護センター

期間：2021年2月17日～3月3日

場所：石狩市民図書館 エントランスホール

内容：石狩浜定期観察の会が2019年に行った定期観察で撮影した石狩海岸の春から秋にかけての自然の様子を紹介した写真展示。

1-6. 施設利用

団体の利用状況では9団体の利用がありました。

《令和2年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況》

	日付	団体	人数	目的
1	6月29日	リハビリセンター ころね	11名	施設見学
2	7月15日	アルパインツアーサービス ネイチャリングツアー	14名	施設見学
3	7月30日	幌向地区自然再生ワークショップ	27名	視察
4	8月20日	いちえ会	20名	施設見学 (自然散策での立寄り)
5	8月20日	札幌科学技術専門学校	14名	施設見学
6	9月6日	いしかりUMIBEキッズクラブ	27名	イベント(再生園使用) 施設見学
7	9月20日	あさひかわサケの会	40名	施設見学
8	9月28日	札幌まるやま自然学校	6名	施設見学
9	9月30日	生活学校	6名	施設見学 (地域散策での立ち寄り)

1-7. 情報発信

■刊行物

刊行物では、通信誌『はまぼうふう』68・69・70号（20周年記念号：VOL.1・2・3）を発行しました。保護センターホームページでは、行事情報や季節ごとの植物の様子などを中心に随時情報を更新しました。

《令和2年度刊行物発行状況》

刊行物名	内 容
通信誌 『はまぼうふう』 【海浜植物保護センター 20周年実行委員会】	石狩浜の自然情報や保護センターの行事予定などを掲載。 ・68号（記念号VOL.1）：4月29日 発行 ・69号（記念号VOL.2）：9月1日 発行 ・70号（記念号VOL.3）：2月25日 発行

■ホームページ

令和2年度のホームページのアクセス数は、16,018件でした。ブログ「石狩浜観察日記」では、石狩浜の日々の自然豊かな様子や活動の様子について紹介し、随時更新しました。市民ボランティアによる石狩浜の自然に関する情報発信、保護センターを紹介するInstagramによる情報発信も行われました。

《令和2年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数》（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,141	1,294	1,910	1,973	1,416	1,972

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2,630	743	520	648	758	1013

年間計	16,018件	月平均	1,335件
-----	---------	-----	--------

■執筆

出版物への寄稿は、以下のとおりです。

◎雑誌

- ・「石狩浜の砂丘からお花見」高橋恵美

北海道新聞野生生物基金 編『モーリー』（2020）NO.55：59頁

■ブックレット作成『石狩浜ブックレット 石狩浜の昔と今と、これから』

【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

保護センターの開館から20年目の節目を迎え、その歩みを振り返り、石狩浜を取り巻く自然環境の歴史、海浜植物等保護地区の情報、石狩浜の生きもの紹介など、幅広い視点から石狩浜の自然情報をまとめました。

(ページ数：32頁、大きさ：A5版、発行部数：500部)

《目次》

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 石狩浜って？ | 4. 石狩浜海浜植物保護センター |
| 2. 石狩浜の海浜植物保護の歩み | 5. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト |
| 3. 石狩市海浜植物等保護地区 | 6. 石狩浜の自然 |



ブックレット表紙（裏 - 表）



石狩市海浜植物等保護地区の紹介

■保護センターに関連する主な記事

- ・北海道新聞「ハマナスの花見ごろ」

2020年6月19日朝刊／石狩当別版

- ・北海道新聞「石狩浜海浜植物保護センター 20周年記念 ハマナス移植」

2020年9月9日朝刊／石狩当別版

- ・北海道新聞「本郷新 幻の塔の模型展示」

2020年9月17日朝刊／石狩当別版

■近隣施設による情報案内

◎はまなすの丘公園ビジターセンター

保護センターのイベント情報や、はまなすの丘公園の花ごよみを掲示しました。また、季節の花に関する情報「石狩浜花ファイル」を掲示し、季節に合わせて更新しました。



◎石狩市民図書館「館ネット」コーナー

《エントランスの掲示板》

月1回程度イベントの情報や季節の花に関する情報「石狩浜花ファイル」を更新しました。

《図書館内の棚コーナー》

書籍棚を活用した展示コーナーに、保護センターの施設情報やクラフト作品を紹介しました。



◎道の駅石狩「あいロード厚田」のハマナス苗配置

石狩浜ハマナス再生プロジェクトで育てている苗8株を道の駅石狩「あいロード厚田」に配置しました。また、苗にはプレートを添えて、保護センターと石狩浜ハマナス再生プロジェクトについて紹介しました。

1-8. 市内公園等での海浜植物栽培

保護センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、石狩市民図書館横に設置した花壇で栽培しました。

《市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況》

場 所	海浜植物の種類
市民図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、 ハマボウフウ、ナミキソウ、ハマナス、 エゾスカシユリ、シロヨモギ、 ハマハタザオ



1-9. 海浜植物種子の配布

来館者向けの種子配布は実施しませんでした。

1-10. 石狩浜の自然情報にかかわる収集・整理

◎資料・自然情報記録の整理

保護センターに保管されてきたこれまでの活動や調査記録について、20年目の節目の年を迎え、資料整理を行いました。展示資料・標本・書籍の整理やリスト化を進めました。新たに収集していく自然情報や調査記録について、今後の展示制作や普及啓発などに活かせるよう、体系的な整理に努めました。

◎「昔の自然情報」の収集【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

地域の暮らしと石狩浜との関わりを記録として残していくことを目的に、「思い出マップ プロジェクト」を実施しました。地元の方6名のご協力のもと、石狩浜での昔の体験についてお話をうかがいました。これらの記録をデータにまとめ、収集情報をもとにした展示物の制作にも取り組みました。

2. 調査・研究

2-1. 植物標本の概要調査

■植物標本の概要調査と撮影記録

保護センターに保管されている植物の^{さくよう}腊葉標本について、標本の来歴確認や採集時の植物調査報告書の記録と合わせた概要調査を行ないました。また、標本の保存状態の確認とともに、写真撮影による記録作業、標本情報の整理作業を進めました。

《標本の概要》

- ・標本数：186 点
- ・採集場所：石狩川河口地域
- ・採集年：1989 年、1990 年

※石狩川河口地域植物調査の一環で採集されたもの（調査機関：石狩町（当時））



腊葉標本の撮影

2-2. 野外調査

■聚富海岸植生再生試験の協力

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所による、「聚富海岸植生再生試験」の植生調査に協力しました。

■植生変化・遷移に関するモニタリング

石狩川河口左岸の海岸砂丘の侵食状況について、現地踏査による計測や写真記録により浜崖の後退について把握しました。また、石狩浜の過去のモニタリング区を含め、今後のモニタリング区設定に向けた現地調査と検討を行いました。

2-3. これまでの調査研究報告等

これまでに発行した調査研究の報告および取組は、一覧（表2-1、表2-2）のとおりです。

表2-1 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と14年間の植生変化（2002年度調査）	1号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003年度調査）	2号
石狩海岸林の植生概要（2004年度調査）	3号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5号
聚富海岸の植生概況（2007年度調査）	6号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7号
1989年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8号
2008年から2010年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10号

表2-2 市民調査による自然情報集約

調査内容	備考
①イソスミレ生育調査	実施日：2018年5月9日（水）、5月18日（金） 参加者：のべ25人
②ハマボウフウ生育調査	実施日：2018年6月22日（金）、7月25日（水） 参加者：のべ12人

3. 自然観察園の整備

自然観察園では、砂丘の植物の生態をより分かりやすく伝えるため、砂浜からカシワ林にかけて生育する海浜植物を区画ごとに配置し、一般の来館者への利用に加え、環境学習での活用を図っています（図3-1）。

昨年度に引き続き、館内展示と観察園との連動を重点に、看板や案内標識の設置を充実させました。また、観察して見つけた情報や発見を記録してポップに示す「観察園みつけた！」の実施や、「はまぼうぶらの観察畑」の設置も継続し、来館者が海浜植物を身近に親しむ観察園づくりに取り組みました。園内に小休憩の可能なテーブルや椅子を増やすなど、来館者の観察しやすい環境づくりにも努めました。



図3-1 令和2年度自然観察園概況

◎自然観察園案内看板の更新

【海浜植物保護センター20周年実行委員会事業】

観察園出入りに設置している案内看板を更新しました（10月）。

今後、観察園内の植物や生きものなど、情報の更新を充実させていきます。



案内看板の更新



自然観察園内に咲くハマナス



小休憩スペース



「はまぼうふうの観察畑」の様子



自然観察園の案内表示



自然観察園内の様子

4. ハマナス再生園の整備

ハマナス再生園では、ハマナスの苗の育成や、観察・体験などの環境学習に活用される場として、日常的に園内の除草作業や区画標識の設置など、春季から秋季を通じた整備作業を行っています（表 4-1）。

園内でのハマナスの利用にあたっては、採取したハマナス花卉・果実の量を把握し、ハマナスの再生を重視した維持管理に取り組んでいます。園内に試験観察区を設け、ハマナスを再生・活用するための手法を検討しています。

今年度は、ハマナスの地上部の枝木の刈取り効果や、ハマナスの花摘みが実なりに及ぼす影響など、各種の検証試験を試みました。

ハマナス再生園の環境学習への活用では、幼児・児童・生徒の野外学習の場として、育成中の苗ポットの植え替えや移植作業を体験していただきました。



表 4-1 ハマナス再生園の整備作業（4 月～10 月）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
苗の育成		植替		植替		移植・植替・播種	
	水やり (ポット・実生)			水やり (ポット・鉢の苗)			
ハマナスの 枝葉の更新	刈り取り 剪 定					刈り取り 剪 定	
除 草 (手作業)				カモガヤ・ススキ・アキグミ、ギンドロなど			
	ブタナ・ヘラオオバコ・マツヨイグサ、ヒメスイバ、ヨモギ、イネ科など						
				チガヤ			
	園 路						
除 草 (機械)			株間 イネ科				
						チガヤ	
その他（除草）		展望の丘、建物回り、駐車場					
その他（維持管理）		園路整備、表札設置					
手法検討 (試験観察区等)			開花結実調査				
	ハマナス刈取効果等の観察記録						



ハマナス再生園全景（入口より）



育成中の苗



試験観察区の様子①-1



試験観察区の様子①-2

写真左：再生したハマナスの成長を促すため、4月にハマナス含む全植生を地表面からすべて刈り取った。

写真右：刈り取り後のハマナスの生育状況を観察し、7月に開花した。



試験観察区の様子②-1



試験観察区の様子②-2

写真左：再生したハマナスの間にチガヤが侵入し全体が覆われた（7月）。

写真右：チガヤの防除手法を検証するため、ハマナス・チガヤを含む全植生を地表面からすべて刈り取った。

次年度も継続して観察していく。



環境学習の様子①

花川北陽認定こども園による植え替え



環境学習の様子②

石狩中学校による移植体験

5. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、例年、施設周辺の観察路の維持や外来植物の除去に取り組んでいます。

5-1. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキ、アキグミが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。



今年度も、春・秋の景観保全作業を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、今回は実施しませんでした。海浜植物等保護地区監視員に協力いただきながら、日常的な作業の一環で外来種除草作業を実施し、はまなすの丘公園内の散策誘導ロープや植物名プレートの設置・撤去作業を行いました。

5-2. 施設屋外の看板および掲示板の整備

道路に面する保護センターの正面の施設名外看板土台の腐食に伴い、設置場所を移設しました。合わせて、外看板や外掲示板の塗装直しも行いました。

また、外掲示板の掲示物について、従来はイベント情報を掲示していましたが、館内情報に変更しました。



6. 来館者数

令和2年度の開館期間中（6月8日～11月3日）の来館者数は2,957人でした（平成30年度来館者数8,531人、令和元年度来館者数8,638人）。令和元年度・令和2年度の来館者数の月変化と年度比較、平成12年度からの来館者数の年変化は、以下のグラフに示したとおりです（図6-1、図6-2）。

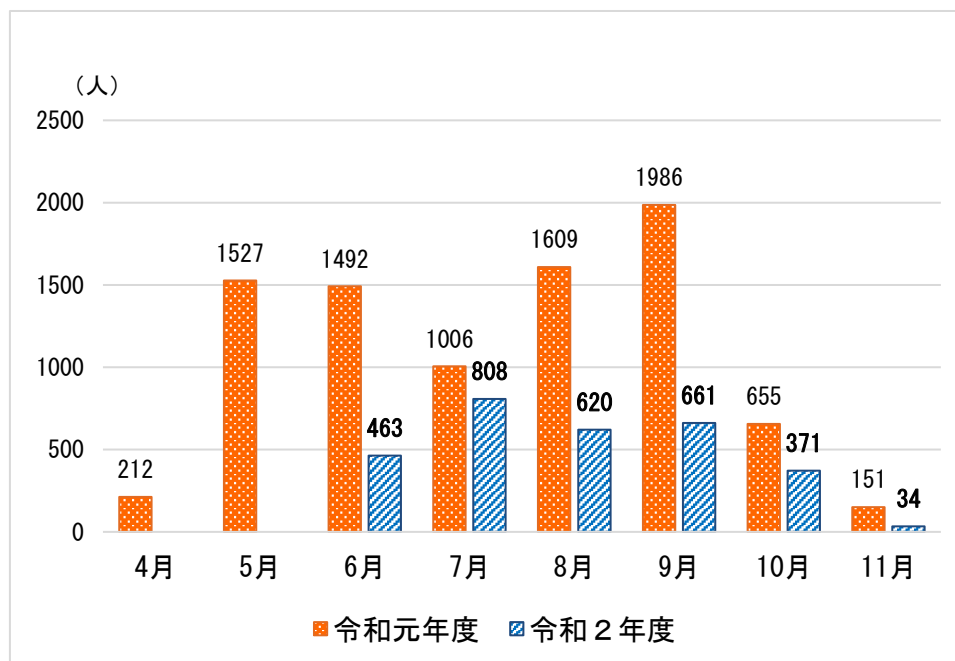


図6-1 令和元年度・令和2年度の来館者数の月変化と年度比較

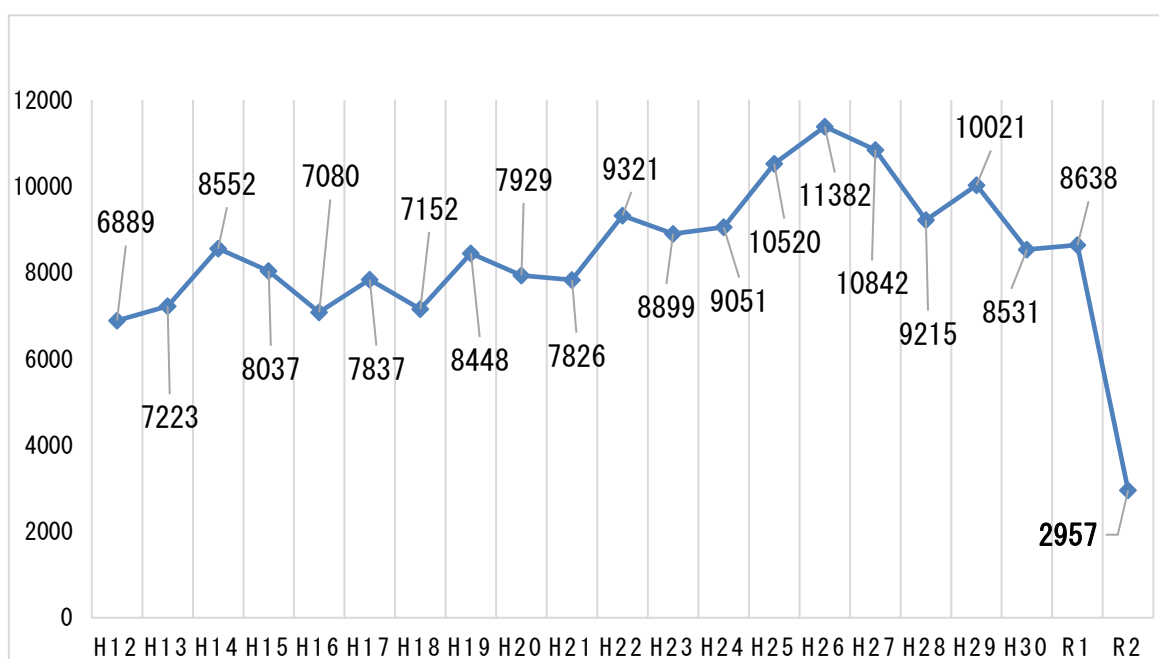


図6-2 平成12年度～令和2年度の来館者数の年変化

7. 保護・回復対策

7-1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から9月まで監視員2人により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先の4～5月はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

7-2. 石狩浜海浜植物等保護地区（親船地区）の拡大

親船地区西端から石狩湾新港東側（3線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への侵入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から侵入していることがわかっています。海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、平成25年に指定した「弁天地区」・「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。「親船地区」から西側（東埠頭側）に約1.2km、面積約15haの保護地区を拡大するにあたり、平成29年度に石狩市環境審議会へ諮問し、答申を受けました。平成30年5月1日施行により「親船地区」は27.0haに拡大され、保護地区全体の面積は54.3haとなりました。新たな区域にも看板や車両侵入防止柵の設置を行い、海岸植生等の保全に努めています（図7-1）。

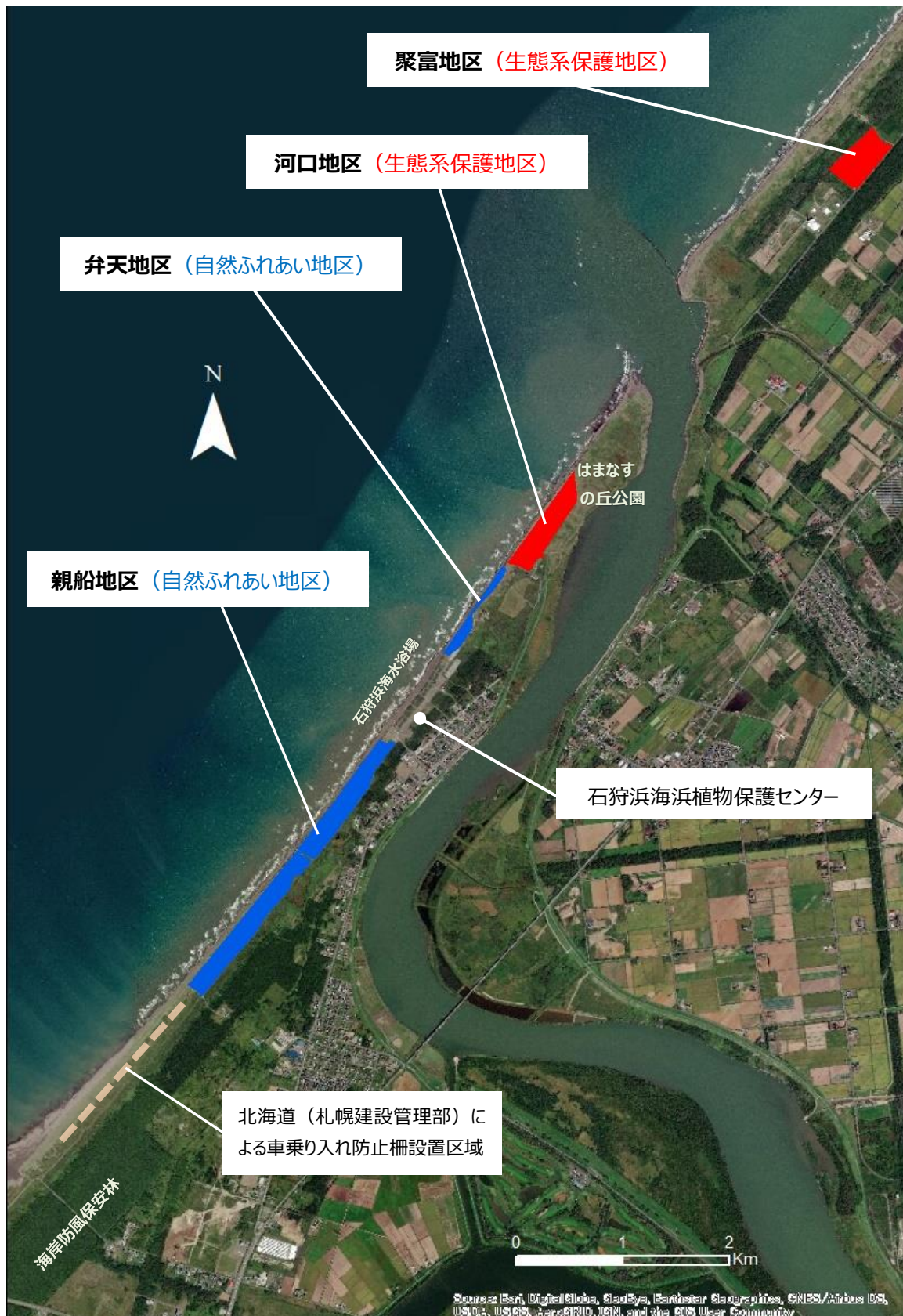


図 7-1 海浜植物等保護地区の位置および車乗り入れ防止柵設置区域

治 革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称 石狩浜海浜植物保護センター
所在地 石狩市弁天町 48 番地 1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模 敷地面積：11,244.1 m²
センター／木造2階建、延床面積：259.5 m²、建物高：10.9m
温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園・ハマナス再生園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

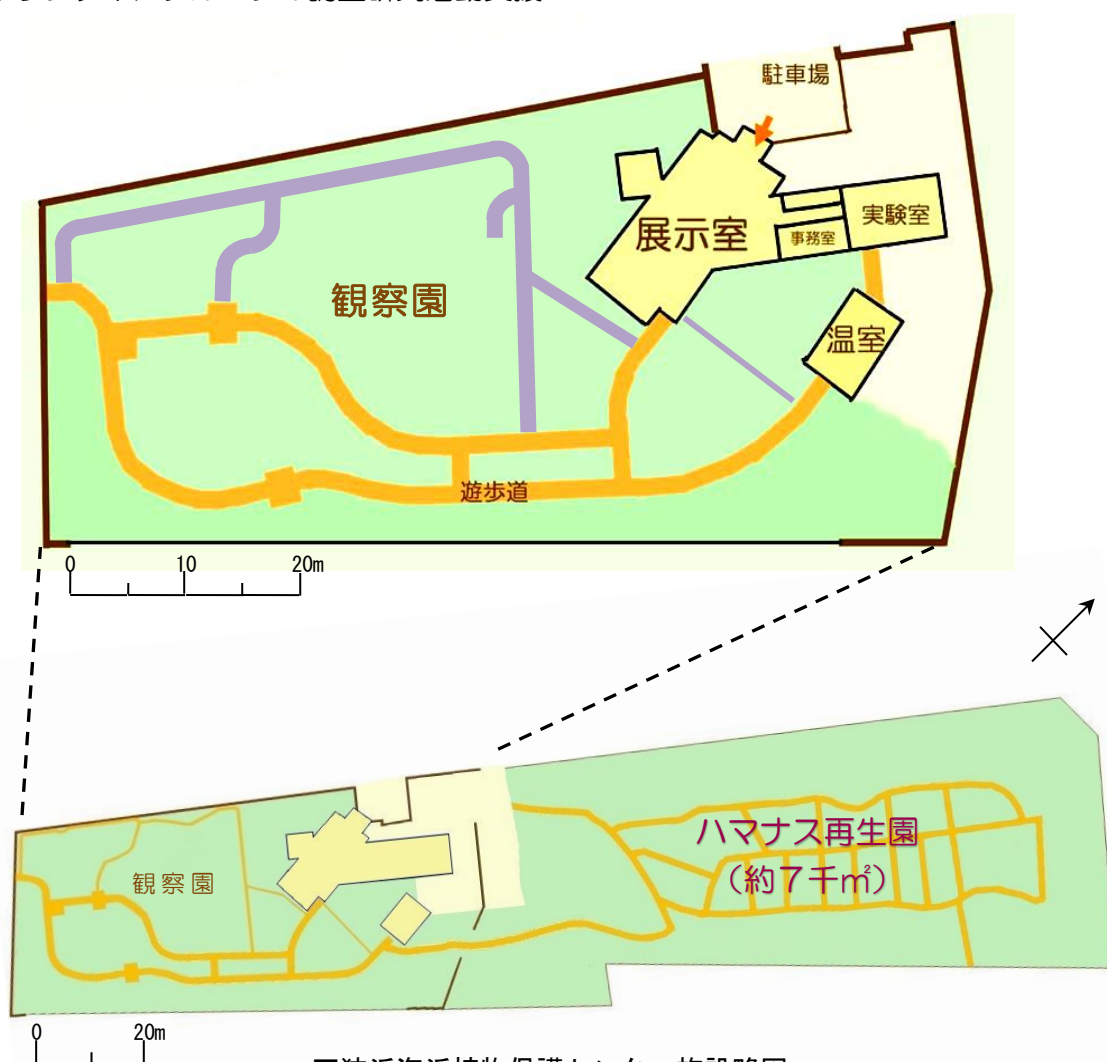
ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

○ 調査・研究業務

石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施
ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩海浜植物保護センター施設略図

施設の改修等

令和2年度は、観察園の木道（枕木）および駐車場（インターロッキング）が老朽化したため、一部を改修し、利用者の安全性向上を図りました。また、保護センターの正面の施設名外看板土台の腐食に伴い、設置場所を移設しました。

石狩海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日
開館時間 9時～17時
休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
入館料 無料
駐車場 あり
交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
「石狩」行き約60分「石狩温泉前」下車
徒歩5分



◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿

(第11期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	山本 亜生
委 員	溝渕 清彦
委 員	西川 洋子
委 員	宮本 尚
委 員	森 幸二
委 員	更科 美帆
委 員	田畑 博

令和2年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

令和3年4月発行

発 行 石狩市

編 集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>